

株式会社 ジンザイスチール



株式会社 ジンザイスチール 社屋

- 所在地
島根県出雲市長浜町516-60
- 労働者の人数（うち障害者の人数）
85名（4名）
- 事業内容、特長・強み
建設業界の鉄筋工事を行っています。コンクリートの中の鉄筋は、人間でいう骨の部分になる重要な仕事です。
- 大切にしていること
誠実・感謝・創造を社訓におき、全従業員の物心両面の幸福を追求する事を大切にしています。

障害者雇用のきっかけについて教えてください。

以前から雇用していた従業員の数名が、脳梗塞になり左上・下肢機能障害の者や、心臓弁膜症が発覚し手術をして身体障害者1級になった者などの継続雇用をする事がきっかけです。



佐々木社長



就労中の障がい者

障害者雇用にあたり意識していることや工夫していることについて教えてください。

工場・廊下・休憩室の段差を無くすようバリアフリー化したことや、現場作業員だった心臓弁膜症の職員には、資格を取得してもらい職長として現場管理をする事で身体に負担を負わさない様にしました。そして大型自動車免許を取得させて、さらに負担軽減に取り組んでいます。

これから障害者雇用に取り組む企業に対しメッセージをお願いします。

障害者雇用への考え方のハードルを上げなくて良いと思います。当社は長年従事していた社員が突然障害者になり、本人も不安だったと思います。しかし会社が率先して雇用に対する取組をする事により、本人の仕事へのやりがいや向上心、そして何より他の従業員の気遣いや優しさが増える事が会社の財産になります。



就労中の障がい者

株式会社 ジンザイスチール の知恵袋 Q&A

Q

障害者を雇用したことがないので障害のことがよくわかりません。貴社では、どのような障害者を雇用されていますか。

A

当社では身体障害者（1級）、上・下肢機能障害・精神障害者を雇用しています。

Q

当社ではバリアフリーが整っていないので、障害者の雇用は困難です。貴社ではバリアフリーが整っていますか。

A

当社も完全なバリアフリー化にはなっておりません。車いすを要する障害者は現在雇用が不可能です。貴社に合わせた雇用から取り組みになられてみてはいかがでしょうか。

Q

障害者を雇用したことがないので、障害のことがよくわからず、どのように障害者と関わっていいかわかりません。貴社では障害者とどのように関わっていますか。

A

何か特別に行っている事はありません。その方の状況に応じて適切な作業配置を行っています。ただ作業環境のヒアリングをしてコミュニケーションは取るようにしています。

Q

障害者を雇用することは企業にとって負担になるのではないかと考えています。企業として障害者を雇用するメリットはなんですか。

A

他の従業員の気遣いや思いやりなどの優しさが増えていくことは会社にとっては財産になります。社内の雰囲気も良くなります。

Q

当社には専門的な業務しかなく、障害者に任せられる業務がありません。専門的な業務しかない企業でも障害者を雇用することはできますか。また、貴社では障害者にどのような業務を担当してもらっていますか。

A

当社の場合は従業員が途中から障害者になったことが始まりですので、以前から従事していた専門業務をスピードは少し落ちますが継続して行っています。どうしても任せられる業務がなければ、アシスタント的に補助業務で考えられては如何でしょうか。

Q

障害者を雇用した場合、業務上の事故により怪我をしてしまうのではないかと心配しています。貴社ではそのような心配はありませんか。

A

下肢機能障害の方の周りは段差を無くし、作業範囲を狭めて出来るだけ動かなくても作業出来る様にしていますので、転倒などの怪我のリスクはない様にしています。

Q

障害者を雇用したとしても、長く続けてもらえるか心配です。貴社ではそのような心配はありませんか。また、障害者の方が長く続けていけるよう配慮していることはありますか。

A

雇用している障害者全員の就業意欲がありますので、そういった事は心配していません。ただ、大事な戦力ですし、身体の状態や精神的なところはヒアリングをしてコミュニケーションをとっています。

Q

障害者雇用を進める際に利用された支援機関はありますか。

A

・ハローワーク

を利用しました。



C h e c k p o i n t

もにすの
豆知識

障害者の病気との付き合い方とは？

- ▶ (基本的に) 病気とは長期的なお付き合い
 - ・・・しかしながら、治る可能性のある疾患はある
- ▶ 多くの疾患は継続的な通院と服薬が必要
 - ・・・主治医の指示に従うのが基本
 - 自己判断での通院の見送りや怠薬のサインをキャッチ
- ▶ 特に「発達障害」に関しては、「治る」ではなく「適応する」が適切か
 - ・・・適切な理解や配慮、対応の工夫がポイント
- ▶ 適切な理解や配慮、対応の工夫がポイント
 - ・・・残業、ノルマ、業績目標、複雑な人間関係